

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 16 回 自治区制度等行財政改革推進特別委員会記録

日 時 平成 27 年 9 月 11 日 (金)
 15 時 50 分 ~ 16 時 20 分
 場 所 全 員 協 議 会 室

【委 員】牛尾博美委員長、田畑副委員長
 岡野委員、柳楽委員、串崎委員、森谷委員、上野委員、笹田委員、布施委員、
 芦谷委員、澁谷委員、西村委員、牛尾昭委員

【議 長】原田議長

【委員外議員】

【執行部】近重副市長、岡本金城自治区長、岩谷旭自治区長、山根弥栄自治区長、中島三
 隅自治区長、砂川地域政策部長、埴財務部長、吉永金城支所長、田村旭支所長、細川弥
 栄支所長、斎藤三隅支所長、宇津地域政策部次長(政策企画課)、河野財務部次長(財政
 課長)、西谷企画係長、新開支所支援係長

【事務局】三浦局長、鎌原書記

議 題

(報告事項)

議 題

1 平成 28 年度以降の地域振興基金の運用方法について

2 その他

【会議録】

(開 議 15 時 50 分)

牛尾博美委員長

第 16 回自治区制度等行財政改革推進特別委員会を開会します。ただいま出席委員は 13 名で定足数に達しています。この会をやる前に、皆さんにお諮りしたいことがあります。というのも、この自治区制度等行財政改革特別委員会、6 月に自治区制度についての結審を迎えました。このたび地域振興基金の運用についてという地域政策からの要望があつて、この会がお受けすべきかどうかということを考えました。実を言うと議運の委員長や議長団にも、この特別委員会がこの件に対して今後も継続的に受け皿になるべきかどうか、という話もさせていただきました。

とは言いながら、既に自治区は終わったわけではなく新たなスタートという面もあるので、このたび第 16 回を開かせていただいて、これからの自治区についての受け皿の特別委員会になろうということで、議長団並びに議運の了解を得た所です。皆さまこれによろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい、ありがとうございます。それでは会を進めさせていただきます。

1. 平成 28 年度以降の地域振興基金の運用方法について

牛尾博美委員長

お手元のレジュメのとおり、平成 28 年度以降の地域振興基金の運用方法について、執行部の説明を求めます。副市長。

近重副市長

(以下、資料をもとに説明)

牛尾博美委員長

説明が終わりました。委員から意見質問を求めます。

森谷委員

残高の半分を折半するという話がありましたが、折半ではなく 3 分の 1 を皆で使うということになったと考えて良いですか。

政策企画課長

そのとおりです。

森谷委員

先ほどの説明で、石見公民館というのが口から出なかったんですが、これはどういう扱いですか。

政策企画課長

石見公民館も確かに中山間地とは言えない所にあります。公民館の範囲としては佐野や長見や三階といった中山間地が含まれます。細かいことを言うと長浜公民館の中にも中山間地域がありますので、その辺はあまり細かく言うのではなく、浜田公民館・長浜公民館は除くという考え方にしました。

森谷委員

砂川さんをご存知ですが、僕はその辺をきっちり言っていますよね。県の定義なのか、国の定義なのかということで、国の定義なら浜田全部入るんでしたよね、確か。県の定義とか、公民館の区分けではないような形でやっていたと思うんですが、いつの間にこのように変わったんですか。

地域政策部長

中山間地域という定義は森谷委員がおっしゃったように、県は浜

田市全域が中山間地域ということで過疎債が全部使える。国の農林水産省は市街地を除く山間地域ということで、私どもは都市計画区域を外したということでご説明しています。今回この割合を出すにあたってはそういうまちごとにどちらに入るかを考えましたが、先ほど説明したように5番の公民館事業については教育委員会にて浜田地区・長浜地区は別事業を考えているので外すとのことで、この2つについては市街地を中心としたエリアで、別事業で対応可能とのことだったので、5番のこの事業の対象からも外れているとのことで、それを念頭において浜田と長浜を外したエリアを今回は中山間地域事業と。実際に石見公民館でもこの共通事業を使って事業をやるとのことなので、外させていただきました。

森谷委員

最初のイメージは旧那賀郡の地域振興基金を半分出させるんだけど、結局旧浜田市で一杯使うことになるんじゃないかという心配だったと思います。ここを見ると出す分については旧浜田市がちょっと負担が多い、言い方を変えれば割りを食った状態なので、使う方も致し方ないとは思いますが、そうは言っても2番と3番、人間ドックと農業サポートは全市だと言われたと思う。このバランスはどのように考えたのでしょうか。

地域政策部長

2番の巡回人間ドックも、これまでは浜田自治区を除いてやっていたのを浜田自治区の中山間地域を含めてということなので、市街地を含まないということで、全市というのは先ほどから申ししています、浜田自治区の中山間地域を含めたエリアということですよ。

3番についても、基本的には農業振興地域を中心に補助事業をやりますので、以前から言っているような定義の中山間地域を中心とした対象地域になると思います。

森谷委員

ということは5番のエリアと2番・3番のエリアとは、同じエリアなんですか、微妙にずれるんですか。

地域政策部長

農業振興地域や危険木等は長浜や浜田自治区エリアでも該当エリアは入ってくると思います。5番の公民館事業は完全に公民館単位なので、浜田と長浜の公民館エリアを外すということで、その部分では地域が少しくずれてくると思います。

森谷委員

ではそのエリアはそれぞれ微妙に違ったり同じだったりするんですけど、どういう方法で我々は分かることになるのでしょうか。

地域政策部長

基本的にはこれまでも申ししています、農林水産省の考えに基づいた中山間地域をベースに1から4までの事業は進んでいくものと思われまして。5番については先ほど来から言っている教育委員会の考え方で、公民館単位で線引きしているので、浜田長浜を外したということで、これは違うエリアを考えています。

具体的にこの事業がこのエリアというのをホームページ等で明らかに出来るかどうかは、今のところ申し上げにくいですが、例えば今の危険木や農業振興基金事業はその都度事業者がおられて、そ

れがどの辺りにおられるかになるので、どの辺りがエリアと言われると先ほどから言っている都市計画区域外、というのが1つの目安です。

牛尾博美委員長
笹田委員

他にございますか。

中山間地域の活性化ということで取り入れていただいたと思いますが、これ、期間は28年から31年でこの予算という認識でよろしいですか。

政策企画課長

先ほど申し上げたとおりです。3番を除いては4年間を事業期間と定めます。

笹田委員

今後この自治区の割り当て、4番の共通事業の基金残高ということで浜田自治区が一番少ないんですが、これも4年間で使いきるという考え方でよろしいですか。

政策企画課長

基本的に4年間もつかどうかもありますが、この4年間で出来るだけ使うようにしていただきたいと考えています。

笹田委員

以前の自治区制度の時から地域振興基金については問題になっている部分があったと思うんですが、使いきれなかった場合のことも考えておられますか。

地域政策部長

現段階で4年間やってみて余ったらどうするか、という議論はしていません。これまではソフト事業ということなので当然執行額も限られていますが、投資枠という考え方もなくしています。ただ、中山間地域周辺4自治区に対しての投資事業はこれまでどおり予算を組んでいます。新たなハード事業が出た時等はこの地域振興基金も充当できるように考えているので、これまで以上にこの基金の必要性は高まってくると思っています。そういう段階で、もし残が例えば3年経ってあったらどうするかは、以前から、自治区制度については31年と32年3月の6ヶ月前までに議論することになっていますので、そういう所で議論することになると思います。

笹田委員

我々が危惧するのは、どうしても使いきらなければいけないという形になってしまって、不要な事業をされるのが一番勿体ない……という言い方もおかしいが。素晴らしい自治区長と市長がおられるのでそれはないと思うが、そういったことのないように、地域のためにやるような方法を見つけて欲しいと思います。

牛尾博美委員長
牛尾昭委員

その他ありますか。

去年の3月議会の一般質問で、地域振興基金を上水道の値上げ部分に入れて市民の負担を少し下げるべきではないかという意見を申し上げました。今でも同じ考え方を持っています。やはり上水道の大幅値上げを聞かれた旧市内の方は、非常に大きな不満を言っておられます。合併して全然良いことないよね、人口の多い所は皆割を食うのかという極端な言い方もあって。実はそれに対してなかなか「実はこうなんですよ」という答えが難しいんですよ。私はだからここで、自治区長も全員いらっしゃるので是非お考えいただきました

いのは、一定の金額を累積債務解消にある程度入れていただいて、その上で値上げを全市で共有するような政策を打ち出してもらわないと。このままでいくと僕ら説明が出来ない。値上げ分だけ大きい所が背負うのかなという議論になった時に、「そうじゃない」という理論武装が出来ないんですよね。それ以上今日は言いませんが、いくらかでも地域振興基金を入れていただいて、上水道の値上げを是非緩和するような方策を是非考えていただきたい。お願いしておきますのでよろしくお願いします。

近重副市長

議員さんからは前からそういうご質問もいただいております。今これとは別に自治区長間で水道料の諮問もしているところです。それに併せて、どういう扱いにするかは協議しています。まだどういう結論になるか分かりませんが、協議しています。

牛尾博美委員長
芦谷委員

他にありませんか。

公共交通対策事業については200万なんですね。これのちょっとした想定や用途。併せて、現在進められている公共交通再編事業との噛み合わせをお願いします。

政策企画課長

先ほど言ったように今、再編計画を検討中でしてそれが決まってからでないと言えないんですが、現在敬老乗車券の試行をしており、利用しておられる方が使えなくなるといけないので、そうした方に引き続き使ってもらえるようなことを考えています。

芦谷委員

それはそれで良いです。2点目に、巡回人間ドック事業2,000万円。これ良く分からないんですが、現行のサービスとどう変わるのかについてお伺いします。

政策企画課長

今のサービスは先ほども言ったように国民健康保険の被保険者だけが対象になっていますが、国保以外の方も……今の制度は国保の基金を使っているのです。来年度以降は基金を活用するので国民健康保険に限らずどなたでも受信できるようにしていきます。

もう1点、現在は浜田自治区では行われていませんが、浜田自治区の中山間地域も利用者がおられると思うので、大きなトラックのような車で人間ドックを受けてもらうんですが、その車を回して受診いただけるようになるということです。

芦谷委員
政策企画課長

料金等については現行のものをそのまま適用する考えです。

その場合具体的に、受診者は何千人が何千人に変わるんですか。

平成27年度の利用者が、各自治区100名程度で340人ぐらいと聞いています。平成28年度以降が1日25人受けられるそうで、それを2日ずつ回す案なので、250人ぐらいが受けられるように今考えています。

芦谷委員
政策企画課長

340人が250人になるということですか。

今言ったような数字が出ています。

芦谷委員
牛尾博美委員長
芦谷委員
政策企画課長
芦谷委員

また後でしっかり精査をお願いします。
340人と言ったのが250人と言ったから、少し……。
またでも良いです。
後ほどお示します。

政策企画課長

3点目、5番です。公民館を中心とした課題解決の支援事業。これ同じ文言が総合戦略に乗っているんです。従ってこの基金事業と総合戦略に載っているメニューと、交付金や基金の充当といったことを含めて、その仕組み、関連をお伺いします。

芦谷委員

総合戦略によってでも、必ずしも国の交付金の対象になるものとは限らないので、この事業の予算としては基金の共通事業として取り組みたいと考えています。

政策企画課長
牛尾博美委員長

総合戦略で交付金が充てられれば、そちらに変わるということが良いのでしょうか。

上野委員

もしそういうことが可能なら、そのようにしたいと思います。
よろしいですか。先ほどの受診者の件はまたきちんとした数字を教えてください。その他ありますか。上野委員。

政策企画課長
上野委員

先ほど芦谷委員が言われた件で分からない部分があります。公民館において地域を担う人材の育成ということで、26年度も600万ぐらいの予算が組んであって、出向してなくて今度は27年度に繰り越しとのことで、今年度どのような使い方になっているか分かりませんが、28年度から今度は800万円がそれに代わってずっと4年間か6年間かいくんでしょうか。それともまた上乘せ……。ああごめんなさい、5年間で800万円ですね。

牛尾博美委員長

それと全く、先ほど言った、昨年度のが今年度に繰り越された、それに上乘せした格好でも来年度からもそういう兼ね合いをつけて、それにこれを足していく格好になるのでしょうか。それとも全くなくして今から5年間この800万だけでやっていく格好なんのでしょうか。

再度言われたようにやるということです。
今からああして、これからのまちづくりの中で一番大事な所じゃないかと思います。そこへお金が減っていくというのはおかしな話で、質問させてもらいました。

その他ございますか。
(「なし」という声あり)
ないようですので、先ほどの受診者の件はきちんとした形で、また連絡ください。

はい、以上で本日の執行部との協議は終了します。

(閉 議 16時20分)

浜田市議会委員会条例第 65 条第 1 項の規定により委員会記録を作成する。

自治区制度等行財政改革推進特別委員会 委員長 牛尾 博美

㊟